

令和6年度第1回下野市生涯学習推進協議会議 議事録

審議会等名 令和6年度第1回下野市生涯学習推進協議会
日 時 令和6年7月10日（水）午後2時から午後4時まで
会 場 下野市役所2階 203会議室
出席者 鈴木健一会長、楡木久美子副会長、高橋修一委員、小島恒夫委員、北村優子委員、
鈴木秀男委員、松本文男委員、武子保委員
【欠席】梅山博行委員、大垣美穂委員
市側出席者 石崎雅也教育長（生涯学習推進本部副部長）、高山正勝教育次長
事務局 生涯学習文化課 野口修一課長、猪瀬貴之課長補佐、大塚隆邦主査、山中裕貴主査
公開・非公開の別 （ ☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開 ）
傍聴人 なし
報道機関 なし
議事録（概要）作成年月日 令和6年7月23日

協議事項等

1. 開会
2. 委嘱状の交付

石崎教育長より代表して高橋委員へ交付

3. あいさつ

（石崎教育長）皆様こんにちは。本来であれば、生涯学習推進本部長である坂村市長が参り、皆様にご挨拶申し上げるところですが、あいにく別公務がありますのでご了解いただきたい。委員の皆様には、日頃より本市の生涯学習の推進に関して、各団体や場において、様々な形で対応にご協力いただいていること、改めて感謝申し上げます。また今回、委員の改選ということで、皆様には委員の委嘱を引き受けいただいたり、公募いただいたりし、重ねて厚く御礼申し上げます。さて、個々の学びを自己の成長やきずなづくりへとへと高めるとともに、地域の活性化や本市の文化を育むことを大きな目的として策定した、下野市生涯学習推進計画（第三次）も、今年度4年目となる。については、本協議会からご意見・提案をいただき、毎年度、実施計画を策定し、各種生涯学習事業の磨き上げにつなげていきたいと考えている。結びに、「生涯学習を通じた ひと・まちづくり『共に学び・つながり・協働でつくる 豊かなしもつけ』」を目指し、本市の生涯学習を全庁的・横断的に推進してまいりますので、委員の皆様からの忌憚のないご意見を賜りたい。

4. 自己紹介

<石崎教育長退出>

5. 正・副会長の選出について

（野口課長）下野市生涯学習推進協議会設置要綱第5条第2項に基づき、正副会長の選出は互選となる。委員の皆様のご意見を伺いたい。

（武子委員）事務局案があればお示しいただきたい。

(事務局) 事務局としては、鈴木(健) 委員に会長を、楡木委員に副会長をお願いしたいと考えているがいかがか。

(委員一同) 異議なし

＜鈴木(健) 会長・楡木副会長席移動、あいさつ＞

(事務局) これより議事の進行は鈴木(健) 会長にお願いします。

6. 議事

(1) 下野市生涯学習推進計画(第三次)について

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づき説明。

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明があった。委員から質問等あるか。

(小島委員) 計画書の39頁にある「生涯学習に関する各課のお知らせなど」について、ボランティアコーディネーション力検定料助成制度など、具体的な制度や事業が掲載されており、非常に素晴らしい。

(鈴木(健) 会長) 市民協働の推進の観点から、掲載したものと記憶する。近年、防災士の重要性なども高まっている。

(2) 令和6年度下野市生涯学習推進協議会スケジュールについて

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づき説明。

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明があった。今年度の協議会は、年2回開催となる。このあとの協議事項である令和7年度事業に関する提言案については、令和5年度から議論している。

(小島委員) 提言について、現委員が議論しないのは、おかしいのではないか。

(鈴木(健) 会長) 本会議の協議事項に関して、会議資料を6月12日付けで事前郵送し、各委員から意見等を事前に求めている。

(小島委員) 提言案に対し意見を求められているとは思わなかった。

(武子委員) 資料が多いので読み切れない。

(小島委員) 会議は2、3時間開いてもよい。無償での参加でも良い。

(鈴木(健) 会長) 会議の開催時期については、各団体からの委員推薦が出そろう必要があるため、今年度は7月開催となっている。来年度以降の会議開催回数については、増やすことを検討いただきたい。

(事務局) 来年度は次期推進計画を策定する年の予定であるため、年5回程度の開催を想定している。本会議の協議事項である提言案については、追加意見をいただく期間を設けたいと考えている。

(鈴木(健) 会長) 提言案に関し実質的な議論のできる環境整備を事務局に要望したい。

(3) 令和5年度生涯学習実績報告について

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づき説明。

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明があった。委員から事前質問等があったようであるが事務局いかがか。

(事務局) 鈴木(秀) 委員より、下野市立学校音楽祭に関して、発表の場を提供している点について評価いただいた。

(鈴木(健) 会長) 鈴木(秀) 委員よりお願いします。

- (鈴木(秀)委員) 推進計画内にあるアンケート結果を見て、市民の半数が関心が少ないのだと感じた。また、情報の入手先に関して多くが、広報しもつけ、生涯学習情報誌エールと回答している。エールの冊子が薄くなったと感じたが、自治会から配るのが大変だとの要望を受けたものと聞いている。しかし、皆さんに知ってもらうためには、内容を具体的にわかりやすくし、厚みがあってもよい、薄くすることには反対だ。また、広報しもつけは、多くの人が目を通していない。工夫が必要。他にも情報発信の手立てがあると良い。また、ふるさと学習に関し、「下野市ふるさとかるた」は有償配布しているが、広まっていない。ボランティアで関わっている、しもつけ薬師寺歴史館で南河内小中学生1、2年生に「ジャンボかるた大会」を実施しているが、そのときだけ。上州かるたは群馬県民に広がっている。市の歴史や良さをPRするかるたとして、多くの人が触れて親しむ、特に子どもたちにできればよいが、なっていない。
- (鈴木(健)会長) 生涯学習の広報に関して、松本委員いかがか。
- (松本委員) 生涯学習に関する広報活動は浸透していない。周知の仕方。自治会を通した周知に関しては、A4 1枚でも、枚数が多いと過敏な反応を示される。何百世帯もある自治会もある。エールはコンパクトになったからといって悪い訳ではない。他の電子媒体などを使い、充実してもよいのではないか。
- (事務局) エールに関しては、毎年3月に市民に目につくよう自治会配送により各戸配布している。なお、今年3月発行分については、情報は盛り込みつつ、冊子を薄くした。しかし、公民館運営審議会において、自治会加入率は6割程度であり、回覧されても受け取らず、読まれず捨てられたりすることが相当数あるのではないかと、委員から意見があった。次回の公民館運営審議会においても、再度意見をいただき進めていくが、今年度については、多くの方が手に取る広報しもつけに公民館講座等の情報をエール概要版として掲載するといった案も検討している。その場合、冊子については、自治会配送ではなく、公民館等の公共施設やコンビニ等に配置し、希望する方に届くようにできればと考えている。
- (武子委員) 石橋公民館では、エールを取りに来る方を多く見かける。自治会回覧では、ほとんどの人が受け取らない。広報紙に掲載するのも手かと思う。
- (事務局) 現在も掲載しているが、市ホームページにもエールは掲載する。また、参加者募集期限が過ぎても定員に満たない公民館講座については、都度、広報紙に講座参加者募集記事を掲載している実態もある。来年は、自治会配送による各戸配布に頼るのではなく、様々な媒体使いながら、より良い方法を探っていきたいと考えている。なお、広報紙への掲載内容については、目をひくよう広報担当と調整していきたい。今まで興味がなかった方にも目につくように工夫してまいりたい。
- (鈴木(秀)委員) お年寄りが広報紙を開くことはまずない。公民館など公共施設にエールを置くとのことであるが、関心のある人や市外の人を取りに行くが、地元の人には取りに行かない。
- (鈴木(健)会長) 公民館運営審議会でエールに関して議論がなされているようであるが、北村委員いかがか。
- (北村委員) 広報紙やエールは見る人が限られているとの意見があった。小さい子をもつ親は、ネットで情報得ている。友人にエールに掲載されている公民館講座を紹介すると、そのような講座があるとは知らなかったと驚かれる。私自身も公運審に関わって知った。

また、市ホームページをわざわざ見ることは、なかなかない。

(鈴木(健) 会長) 市ホームページで、エールや公民館講座のページにたどり着くことが難しい。情報発信に工夫が必要ではないか。

(事務局) 広報紙に二次元コード入れるなど工夫したい。

(鈴木(健) 会長) 視聴率がどうか分からないが、FMゆうがおでの情報発信もある。

(武子委員) 私たちが考えているより聞いてくれているらしい。

(松本委員) 全国から聞いてくれている。スタッフも頑張っている。

(鈴木(健) 会長) 紙媒体にプラスして出来るものに取り組んでいただきたい。

(事務局) 研究してまいる。

(4) 令和6年度生涯学習実施計画について

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づき説明。

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明があった。令和6年度は291事業あるうち、提言関連事業として39事業が計画された。委員から質問等あるか。

(委員一同) 意見なし

(5) 令和7年度事業への提言について

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づき説明。

(鈴木(健) 会長) 事務局より説明があった。今年3月から提言内容の検討を進めてきた。特に、市民活動センターは、生涯学習に大きく寄与している施設でもあるが、教育委員会所管施設との違いや窓口がわかりづらいところがある。生涯学習施策を首長部局に移管している自治体もある。また、社会教育委員会議や公民館運営審議会があるが、本協議会でも両会議と重複したテーマを扱っている。会議回数も限られ、充実した会議運営が求められている。中長期的な次期推進計画の中で、こうした生涯学習のあり方を検討いただきたい。また、施設の老朽化や駐車場の問題などもあると思う。鈴木(秀) 委員いかがか。

(鈴木(秀) 委員) 大松山運動公園と石橋図書館における駐車場問題について、土日に駐車場が満杯になることがある。図書館を利用しに来たが、諦めて帰る方もいるように思うので、改善してほしい。公園に来て図書館を利用する人はまずほとんどない。

(武子委員) 年中駐車場トラブルがあるように思う。緑色に塗装された図書館専用駐車場にカラーコーンを置き確保するが、運動公園利用者と口論になることもある。

(鈴木(健) 会長) スポーツイベントと文化事業が重なると、駐車場が使えないようだ。全庁的に検討すべき課題である。提言書の他の箇所については適宜字句修正を行った。その他、追加で意見等あればメール等で事務局へ連絡いただきたい。委員から他に意見等あるか。

(小島委員) ICT活用に関する提言があり素晴らしい。市職員向けにITパスポート取得を支援しているが、さらに市民向けの支援を検討してほしい。

(鈴木(健) 委員) 楡木委員いかがか。

(楡木副会長) 高齢者にやさしい支援策を記載していただきたい。

(鈴木(秀) 委員) 高齢者の足の確保が必要である。デマンドタクシーの利用が考えられるが、下車してすぐに移動され、待ってくれないと聞く。高齢者に対する配慮が欠けている。

(鈴木(健)会長) 自治公民館での講座開催であれば、高齢者も足を運べるのではないかと考えている。
自治公民館は生涯学習に寄与する施設でもある。老朽化した建物も多いので、建て替えの支援も必要ではないか。

(武子委員) 自治会単独での建て替えは難しい。

(鈴木(健)会長) 様々な国補助制度の活用やコミュニティ関連施策も含めて生涯学習の充実策を検討いただきたい。それでは、追加意見等あれば事務局へ連絡願う。最終的なまとめについては、私にらせていただきたいがよろしいか。

(委員一同) 異議なし

(鈴木(健)会長) ありがとうございます。進行を事務局へ戻す。

7. その他

(野口課長) 委員の皆様ありがとうございました。令和6年度生涯学習文化課事業概要など、事務局から説明願う。

(事務局) 資料に基づき事業概要を紹介。提言書に関する追加意見等については、今週12日(金曜日)までに連絡いただきたい。提言書の提出については、来週18日(木曜日)に鈴木会長から坂村市長へ提出する予定。

8. 閉会